

科目名		授業形態	担当教員名	
臨床生化学		講義	宮下 久美子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 1 単位）		15 回	1 年次	後期
授業の目的・概要				
分子生物学で講義した内容を踏まえ、生命を形作る生体成分及び細胞レベルでの代謝について講義する。				
授業の到達目標				
ヒトの生命現象を理解し、臨床工学技士として必要な臨床生化学の基本を理解する。				
授業計画				
回	内容			
1	蛋白質の機能(1) ホルモン			
2	蛋白質の機能(2) 筋肉			
3	蛋白質の機能(3) 輸送蛋白			
4	蛋白質の機能(4) 受容体蛋白			
5	蛋白質の機能(5) 構造蛋白質			
6	蛋白質の機能(6) 骨			
7	蛋白質の機能(7) 抗体			
8	臓器の働き(1) 脳・筋肉			
9	臓器の働き(2) 肝臓・腎臓・血液			
10	栄養素の消化と吸収			
11	糖質の代謝			
12	脂質の代謝			
13	蛋白質の代謝			
14	プリン体の代謝			
15	まとめ			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	100%			
レポート・課題				
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
はじめの一步の生化学・分子生物学 第3版		前野正夫	羊土社	
自由記載				
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
自由記載				
備考				